

2023.4/7(金)

23目標4月状況別セミナー① 論文リスタート生・12月短答合格者向け

4・5月のスケジュールと ポイント

【本日の内容】

セミナーの開催目的 自習時・サポート利用時の時間対効果

I ゴールから逆算する

- 1 論文式試験合格までに必要な力3つ(p.3)
- 2 4～8月のスケジュールとポイント(p.4)
- 3 答練の進捗が大きくずれている場合(p.7)

II サポート制度の活用

- 1 主な6つのサポート（全体向け⇔個別具体的）(p.8)
- 2 その他（テキストチェックゼミ、オープンチャット等）(p.9)
- 3 TAC就職サポート 2023(p.10)
- 4 よく伺う失敗談(p.11)

III 具体的な学習のポイント

- 1 大問ごとに偏差値が凹む原因例(p.12)
- 2 ふせんの活用(p.13)
- 3 集計ミスが減らない場合(p.14)
- 4 計算メンテナンスの例(p.15)
- 5 租税法 参考法令基準集/理論の学習法 (p.16)
- 6 理論科目 手応えと成績に乖離がある場合(p.17)
- 7 社会人合格者インタビュー アーカイブ動画紹介(p.18)

その他の事前質問への回答(p.19・20)

巻末参考資料・・・相談窓口・財理テキスト使用例

強み/弱み・8月までのスケジュール

はじめに 状況別セミナーの開催目的

【2つの面で、時間対効果を高める】

自習の時間対効果

☑定期的に、時期ごとの目標・よくご相談いただく内容を共有



短期的・中期的ゴールが明確になる



学習方針などで迷いや不安がなく、学習に集中できる。

質問・相談などサポート利用時の時間対効果

☑学習ペースがずれたり、成績が伸び悩んだ時にも・・・



定期的にセミナーで、
状況別の優先順位/スケジュールの組み方共有



自力でもある程度立て直せるようになる。
質問・相談時、時間内でより具体的な話が可能になる。

今後の状況別セミナー実施予定

2023年5月短答後・7月模試後・論文後

I ゴールから逆算する

1 論文式試験合格までに必要な力

必要な力	目安となる状態	使う教材・サポート
テキストを理解 (※理解だけでは不十分)	☒ テキストを読めば内容がわかる ☒ 比較が出来る (共通点・相違点) ☒ 具体例を挙げられる ☒ テキストを見ながらであれば、正解できる	講義・質問、 その他各種アウトプット教材⇔テキスト <u>★演習を通じてインプットの穴を探す。</u>
理解に加えて、 本試験当日(※)、 テキストの内容を 使える、 想起できる	☒ 自力で初見の問題が正解できる ☒ 目次を見たり問題を解いた後、テキストの周辺論点の場合分けで思い出せる	問題集、答練、テキスト目次、財理章扉 word 質問コーナーで理解度チェック (口述式問題演習)
上記に加えて、 大きなやらかしを せず、 <u>得点に繋げ切る</u>	☒ やらかしミスの対策・工夫をしている ☒ 時間配分で崩れない ☒ 理論科目の場合・・・問を読み取って、 <u>素直に過不足なく</u> 答えられる	答練・問題集・全国模試 やらかしミス分析・対策をメモ 論文理論科目の場合、zoom 質問ルームや質問コーナーで答案のフィードバックを受けるなど

ピーク合わせの例 ★一度覚えたものも、
2週間を超えると抜ける。

全体確認 …試験前 10-14 日以内

細かい暗記…ふせんページ 3 日以内

財理・監査論テキスト・・・本試験前 1 ヶ月前までは 10 日-2 週間、
最後の 2 週間は 7 日以内など

★5月末までに基礎・応用答練受験/テキストの復習・適宜講義受講を通じて理解を深め、丸暗記を減らす(参考: Web 論点別講義)。★細かい暗記が必要な対象を特定し、回転の下準備。メリハリ。

2 4～8月のスケジュールとポイント(p.4)

論文生4月のポイント★通学生や会場受験は論文全国模試受験手続が必要

- ① 財務計算・管理計算が苦手な場合、最優先で固める。
- ② 下振れしても全科目・全大問で平均を確保できるように
各科目ある程度照準を合わせる。

(模試までに10～14日ほどで1周+αし、ピーク合わせを試す)
自分なりに積み残しがないように。

※進捗がずれている場合、5月末までに
各科目の応用答練まで終わらせて提出。
全国模試以外は、締切を過ぎても採点・成績反映される。

- ③ 租税計算(特に法人税①)と財理は配点が高いため、
厚めに取り組んでもOK。
- ④ 理論科目は、問題集ではなく、テキストの内容を
説明できる・使えるように。

論点ズレの原因となるため、答練の模範解答を「丸暗記」しない。
問に対する素直な回答作成、テキストの体系的な理解を意識。

論文リスタート生の場合、過年度の答練は基本的に封印する。

参考：巻末資料 論文リスタート生の場合の強み/弱み

【昨年、答練の成績は良かったものの、
本試験で論点ズレ等が起きた論文リスタート生】

対面/zoom 質問コーナーや zoom 質問ルームを利用し、
必ず数回は通常答練の答案について講師からのフィードバックを受け
る。

★問に対する答えではなく

「自分が書きたい/覚えてきたこと」を書いていないか？

手応えと乖離がある場合の分析はⅢ. 6で後述。

論文生 5月のポイント

① 5/28(短答実施日)を、

気になる分野をなくす締切と捉える。

5月短答合格者と比べてアドバンテージを確保できるか？

② 通常答練が終わってれば、理論補強答練を活用して、
理解・アウトプット力強化(本試験までには一通り復習する)。

財理、監査、企業、租税、経営 各2回 解答時間各1時間ずつ

上記を丁寧に行った上であれば、

論文対策講義を計算の初見練習・問題文の読み取り練習に活用。

③ 中だるみに注意。

↓12月論文学習法セミナーから抜粋

教材の位置付け

論文対策講義 ★初年度生の場合…手続を行えば視聴可能。

インプット強化の関西管理・関西監査論など適宜活用。手が回ってなければアクセスと答練優先。

【論文対策講義】(目的に合わせて適宜受講)

- 関東収録版:主にアウトプット強化のための過去問演習・解説など。財務計算は本年からテキストとの紐づきなど盛り込む。
通常答練やアクセスが優先。租税は論文受験経験者向けの理論対策。
※特に財務理論は応用的な問題が多いため、テキスト優先。見るとしても、あくまで参考程度。
- 関西収録版:管理会計・監査論は、主にインプット強化。
論文の学習法・テキスト理解に悩んでいる受講生向け。

※論文対策講義について、詳しくは、各講義冒頭を受講。

理論補強答練(4月頃要手続・[会計学基準集プレゼント有り](#))

※Web論点別講義…上級生コースに付属 インプット強化のための講義。

財務理論全87時間、監査論40時間など。企業法はピンポイントで活用。

- 企業・租税・経営…通常の答練と同様の難易度・重要性。
- 財務理論・監査論

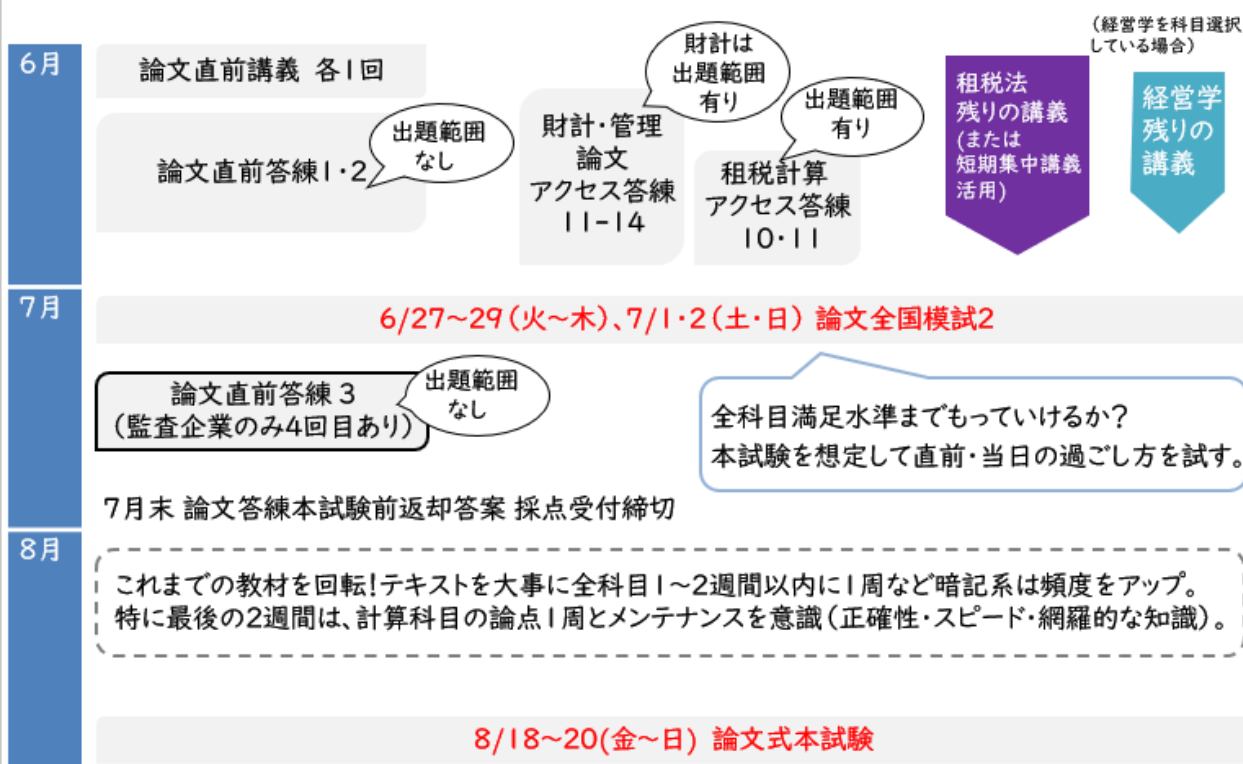
応用的・論点横断的な問題が多い。自習時の視点を新たにしたり、理解強化に活用。

財理・監査論は通常答練が優先。
5月生は短答後、本試験までに
参考として使う。

論文生 論文までの基本スケジュール例とポイント

		ポイント
4月	※以下、答練日程は日吉校を参考に記載 租税法応用答練(4/12, 4/19) 経営学応用答練(4月以降) 4/25-27、29・30 論文全国模試1	財理・監査論・企業法は、答練の出題範囲にまだなかった章の回転下準備も済ませる。 3月末までに固めたテキストの理解を土台として、 4月模試に向けて1周+α回転する。 範囲指定がなくなるため、まずは 全大問で凹みをならす 意識。
5月	理論補強答練2回ずつ	インプット強化のため、未受講分があれば、論対 関西 管理 岡本講師・監査論岡田講師 受講。 アウトプット強化のため、企業法論対 未受講分やテキスト チェックゼミ受講など。 これまでのアクセスや答練の復習。 初見の計算答練がしばらく無いため、財務計算の論文対策講義、管理会計の論文対策講義を数回使ってもよい。

6～8月のスケジュールとポイント



3 答練の進捗が大きくずれている場合の スケジュール例

◆…全国模試①までに実施/◇…5月末までに早めに実施/○…◆◇の後、早めに実施

		ポイント
4月	◆財計・管理 論文アクセス（管理は理論部分含む）4月頭にかけて全10回 ◆財計 論文基礎答練 3回 ◆管理 論文基礎答練 3回 ◆監査論 論文基礎答練3回 ◆企業法論文基礎答練 4回※テキスト参照可 ◆租税アクセス 1-4⇒復習 経営学◆まず全国模試までに テキスト①②について章末問題復習 ◇租税基礎答練1・2・3 ◇租税アクセス5-9 ◇監査論 論文応用答練1・2 ◇企業法・論文応用答練1・2	不足している力を分析。財理と租税（特に法人税①）は毎日取り組むなど。 理論科目について、納得感を重視。丸暗記を減らす。 租税法・経営の計算講義消化・例題。 租税法トレーニング…1回は解き、テキストへ一元化。まずはアクセス1-4や基礎答練を反復練習⇒テキストへ。 ★法人税①計算について、全国模試までにはアクセスとテキストで苦手意識をなくす。 ★企業法と租税法の答練は、どうしても詰まったらテキスト参照可。監査論も参照可（ポイントだけでも説明できるようにしてほしいが）。財理はテキスト参照×、覚え始める。 理解強化・学習方針確認（通常の答練を優先） 管理…関西 岡本講師 管理会計 論対初回 監査論…テキストチェックゼミ初回と岡田講師論文対策講義初回 企業法 初回
5月末	◇財計 論文応用答練1・2 ◇管理 論文応用答練1・2 ◇経営学基礎答練 ○租税・経営応用答練1・2	★財務理論のテキスト理解が不足している場合、5月中であれば、苦手な箇所について Web 論点別講義を倍速で見直してもよい。 論文の回転下準備を済ませていく。答練範囲に合わせ、理解強化・覚えるべき知識の特定・強調。 ★企業法はまず理解・精読・組み立て方を知る。

各科目のポイント…12/13 論文学習法セミナーレジュメ参照

論文答練を受ける前に、各科目答案作成ポイント講義を受講（Web School 配信）

【企業法論文答練】★「まだ覚えていないから受けるのを先延ばし」…△

企業法について、問への答え方/組み立て方を把握するまでは、全国模試以外はテキスト参照可（監査論も OK、財理/管理は×）。スタート 10-20 分は、該当条文を六法で探すなど自力で取り組む。復習時は以下を分析。早めに講師に相談。

- ①テキストを見ないで書けた箇所
- ②テキストを見たら書けた箇所(4月模試前から少しずつ覚え始める)
- ③テキストを見ても書けなかった箇所（理解不足・読み取りや組立て△等）

Ⅱ サポート制度の活用

1 主な6つのサポート ◆…必ず利用

全体向け情報共有

① 公式LINE◆ Web School「講座からのお知らせ」欄

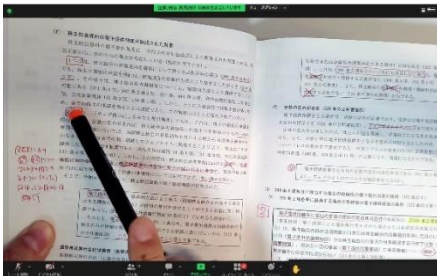
② 状況別オンラインセミナー◆

3ヶ月に1度&本試験直後に実施 30-40分ほど
時期ごとの注意点、短期/中期目標の設定方法

以下、双方向

③ Zoom 質問ルーム・【1対複数 人数制限なし】 挙手又はチャットで質問。

4/15(土)9-18時 (7-9時 早朝自習室試行実施)
4/23(日)9-21時 (7-9時 早朝自習室試行実施)



←2/23 宮内講師の
質問ルームの様子

より具体的な相談ができるように…

★質問・相談前に、直近で実施した状況別セミナーの資料確認（できれば動画冒頭30分程も視聴）

★相談時、自己分析結果/現在の自分の課題や今後の方針、解いた際の下書き・答案等を持参

※ビデオオフ・ニックネームでの参加や、名前を【見学】として視聴のみの参加もOK。

さらに個別・具体的な1対1の相談

④ Zoom・対面質問コーナー【1対1】毎日実施 10分程前から先着順 日程表(@C. P. A.) https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_gd_situmon.html

使用目的例 ① 内容質問や論文答練答案のフィードバック
(自分の答案を画面共有し、コメントをもらうなど)
② 各科目の学習相談 (最低限/理想目標や短期・中期目標設定)
③ 理解度チェック 章を指定して口述式で問題を出してもらう

⑤ 対面相談会(事前予約不要) 1対1

4月後半以降関東各校舎で実施。日程は@C. P. A 相談日程/LINE で公表。

⑥ 【ネット予約制】個別学習成績相談(1-3ヶ月に1度利用など) 毎週土曜日13時に翌週分予約開始 25分～久野講師は45分ずつ @C. P. A. 成績相談日程表内 リンクから予約

2 その他のサポート制度

(詳細は、全て Web School「講座からのお知らせ」欄)

◎テキストチェックゼミ

範囲指定有り

講師が口頭で問題を出す

当てられた受講生(希望者)が

口頭で答える

以下の科目につき、
全てアーカイブ済み

財務会計論 計算、管理会計論、監査論



★自問自答をしながらテキストを読むきっかけとして、
上記アーカイブ資料を活用するのも◎。

◎学習法・財理・監査論質問用 LINE オープンチャット

【開発中】

受講生向け仮想空間

大阪/台湾初のスタートアップ企業とオンライン自習室を開発中。

試行実施イベントとして、

4/19(水)19-21時 仮想空間で交流会を実施。



3 TAC就職サポート 2023 (主に8月論文本試験翌日から本格化)

最新情報 (随時更新)

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support.html

1. 就活に関する情報提供

- ◆ 主な法人採用ページリンク集【6/1 OPEN】
- ◆ 直前期過ごし方セミナー実施 (就活オリエンテーション)
【6月上旬オンライン実施、6月中旬以降 WEB SCHOOL にて配信】

(5月短答が不合格だった方向けに、進路選択セミナー実施【6月中旬予定】)

◆就職ガイド

会計士受験生のための就職ガイド【論文全国模試②で配付】
会計士受験生のための就職ガイド[エリア版]【8月上旬発行予定】
※札幌など地区での就業や、Iターン/Uターン向け旅行ガイド付き
論文式試験後、DM 予定

【論文式本試験後】

- ◆会計士受験生のための就職説明会
8/21 から順次各地で開始。就活キックオフとして活用。

- ⑦ 就職サポート公式 LINE を活用した法人イベント告知
※6月直前期過ごし方セミナー時に案内

2. 就活スキル UP

- ◆就職対策講義【7/21 以降 WEBSCHOOL にて配信予定】
- ◆就活オンラインマナーセミナー (初めて就活する方向け)【8/21 夕方予定】
- ◆就活相談会 (オンライン)【9月実施】
- ◆面接対策 (オンライン+対面)【10月実施】参加者向けに ES 添削実施予定。

3. 個別相談

フリーコール 平日 14:00~17:00

オンライン相談 随時 (counselor@tac-school.co.jp にご連絡で日程調整)

4 よく伺う失敗談

input

- 無理な計画を立て、睡眠時間を削り体調を崩した。
- 重要度の強弱を付ける意識が足りなかった。
- 自己判断で、重要な論点を切ってしまうていた。
- テキストに戻らず、問題集の解答・解説の確認で終わっていた。
- 講義やテストの実施がずれて投げやりな気持ちになり、放置した。
- 科目の先生と話したことがなく、自分が「理解した気になっている」ことに気づけなかった。
- 合格者と話したことがなく、最終的にテキストについてどの程度の理解・想起が必要か、体感できていなかった。

Output

- 完璧主義**に陥ってしまった。
- テキストの復習のみで、演習が足りなかった。
- スラスラ解ける問題をずっと解き続けていた。
- 人と話さず、アウトプットが足りなかった→**質問コーナーで講師やチューターに説明**することで、理解が強化された。

★自己分析の結果や学習の方向性・優先順位が
大きく誤っていないか、定期的に確認・軌道修正。

↓

日々の自習時の自己分析・改善が、適切に行えるようになる。
特に、受験勉強の経験値が少ない場合は活用。

★**時間配分のバランスは、8月の直前期以外はあまり固定化せず、
学習の目的に応じて必要があればテコ入れする。**

参照：合格者からのメッセージ集 Vol. 3 Web School「教材」欄

Ⅲ 具体的な学習のポイント

1 大問ごとに偏差値が凹む原因例

(12月論文学習法セミナーから再掲)

全科目共通

- インプット面(理解不足/問題の題意が読み取れない/関連論点・典型論点が想起できない)
- アウトプット面
 - 問題文読み飛ばし(単位、端数処理、理論科目指示・状況把握)
 - 時間配分(特に財務・管理)
 - ① 大問ごと(どちらかに70分掛けた、50分未満の大問があったなど)
 - ② 大問内の時間配分・難易度の見極め

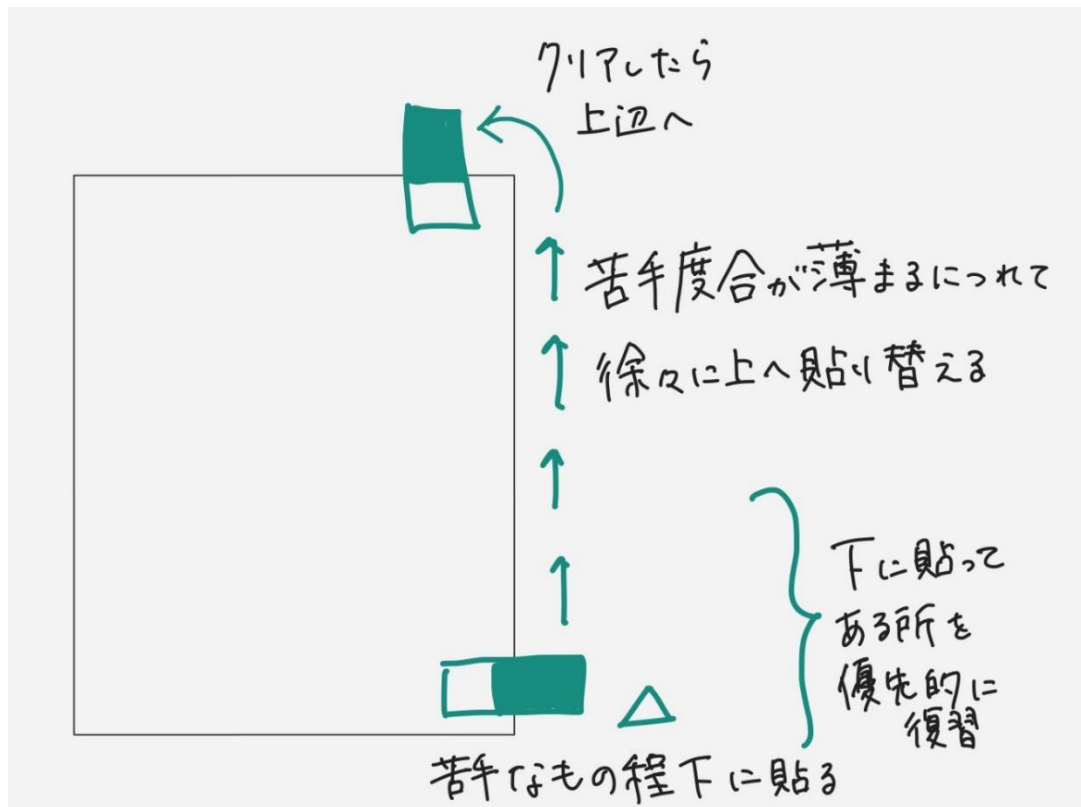
計算科目全般

- しばらく手を動かしておらず
計算ミス・スピード不足や、
慣れた問題のみ回しており、
やらかしミス多発
- 手薄な処理があった
- テキストを最近見ていなかった

理論科目全般

- 納得感を持たず断片的な暗記
- 直前期の回転不足
- 大きく手薄な論点があった
- テキストを最近見ていなかった

2 ふせんの活用



3 集計ミスが減らない場合

工夫の例：下書きを大きく書き、
集計項目はできるだけ分散させずにまとめる。

【ポイント】

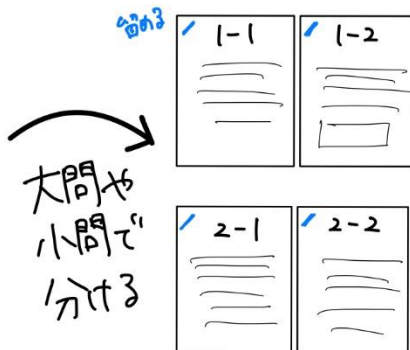
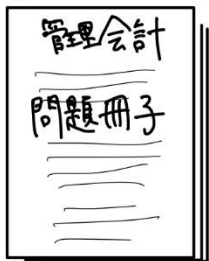
論文の場合、本試験問題用紙の裏は全て白紙。答練も同様。

問題用紙を大問ごとにホチキスで留め、
問題用紙の裏を、他の大問の下書き用紙として使う。

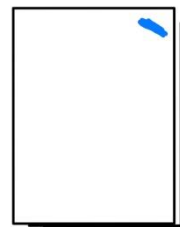


大問ごとに、使える下書き用紙が3～8枚などに増える！

ex.



裏返して下書きに。



1-1を解く際に
他の小問裏も
使う。

4 計算メンテナンスの例

※いずれも演習後は、周辺知識の場合分け想起・テキスト確認

■財計

まずは論文アクセスの難易度 A 部分(その後基礎/応用答練) ▶テキスト

■租税法 アクセス▶テキスト、特に法人税①

※論文初年度生の場合

法人税①:所得税 1 基礎論点:消費税基礎論点 (特に売上側)

=4:2:1 の配分を目安に毎日など (必要があればテコ入れ)

■管理

目次から処理や理屈想起/テキスト確認 (10 日で回す場合、テキスト前半と後半少しずつなど) ▶翌日に該当箇所のアクセス半分ずつなど

■経営学

まずは章末問題を全て解けるようにする(苦手なものを中心に 3 周等)

トレーニングレベル 1 のうち、奇数番号や 5 問飛ばしなどで数問ピックアップアップして、1 日 1・2 章など(0.5 時間-1 時間など)

★不明点は付箋を貼っておき、質問へ

(↓12 月論文学習法セミナーから再掲)

財務会計 論点ごとのメンテナンス例

【ポイント】

下書きの固定化・解くべき問題の見極め
正確性(やらかしミス対策)
テキストの知識維持・スピード

25

①論点をグループ化。

1. 個別論点 テキスト1~4
2. 連結(在外) テキスト5~7
3. 企業結合・事業分離等 テキスト8
4. CF計算書(個別・連結)テキスト9
5. S/S・包括利益計算書・テキスト4・7
6. 収益認識・外貨建取引
(自分の苦手な論点やテキスト10など)

②それぞれ該当アクセス・答練を書き出す。

※下記は正確な出題回ではなく、書き込みのイメージ。

- ...ア1-3、9、10
...ア4、6、基1-3
...ア7
...ア8、11、基3-1
...ア3、基2-1
...ア10

★企業結合は細かい処理を忘れやすい
ため、模試・本試験前々日等に設定

③論点ごとで取り組む。

直前期は 10-14日 1回

毎回丸ごと解き直してではなく、難易度 A で間違えた箇所のみ解く、
30分で難易度 A だけ拾う、解法プロセスの確認など、
毎回目的に応じて取り組み方を変える。

5 租税法 参考法令基準集について

公認会計士・監査審査会から配付法令基準等一覧の訂正があったため、市販の法令基準集には以下の記載が不足している。

法人税法

第4条の2

第4条の3

第4条の4

第61条の11

通常講義最終回 上級 18 回目で、上記につき補足条文を配布
(第61条の11は3/13配信 論文対策講義最終回で配布済)

★租税法の応用答練以降受験の際には、
補足条文 PDF を基準集に挟み込んで受験する。

※出版元の大蔵財務協会 HP でも該当箇所の PDF 配布済

租税法 理論の学習法

計算を固めてから本格化。
まずは、出やすい条文を知る。

①右画像のように、問題出題箇所を
「要約条文」へマーク。

- 理論テキスト例題
- 全9回の答練理論部分
(応用2回、全国2回、直前3回、理論補強2回)

どのように出ていたか?も思い出せるように、
「応1」など出題回も書く。

★アクセス解き直し・テキスト例題に慣れてきてから、
理論講義3回分受講(上級16・17・18)。

▼直前期は要約条文がメインの学習教材となる

18

理論
答練・テキスト例題の
出題箇所・出題回をメモ

第二目 資産の評価損
33条 (資産の評価損の損金不算入等)
(1) 資産の評価損は、原則損金不算入
(2) 災害による著しい損傷等、特別事由が生じた場合には損金算入 (損金経理)
※ 固定資産の減損損失は、原則損金不算入 (特別事由に該当する場合は除く)

第三目 役員の給与等
34条 (役員給与の損金不算入)
直1 ● 理論1
(1) ①定期問題 ②事前確定届出 (株式、新株予約権、特定譲渡制限付株式含む) ③業績連動に該当しないものは損金不算入 (業績連動に該当しない退職給与、使用人兼務役員除く)
(2) 不相当に高額な部分は損金不算入
応1 ● (3) 事実を仮装隠蔽して支給したものは損金不算入
(4) 給与には、債務免除その他経済的利益を含む ● 応1 商品の低額譲渡
(5) 業績連動給与の定義
直1 ● (6) 使用人兼務役員の定義
35条 (過大な使用人給与の損金不算入)

②答練解き直し&要約条文の通読で、典型条文の位置把握。

- アクセス・テキスト反復に慣れて多少余裕が出てきた頃から(7月末頃からなど)、
毎日答練の理論部分を1回分解き直す。
(法令基準集を使い、該当条文を探して条文番号を書き出す。15分ほどで1回分目安。)

- 毎日要約条文をこまめに通読(5~15分ほど)。マーカー箇所とゴシック体中心。出やすい箇所。

- 計算自習時、気になったら根拠条文を確認。

※消費税法は基準集目次が簡素。直前期は原文を見慣れておく。

6 理論科目 手応えと成績に乖離がある場合

(↓12月論文学習法セミナーから再掲)

理論科目 問いと答えの対応関係分析

ex. 問題で何が問われているか、どのように書き始めればよいかわからない。
自分では書けたと思って、全く点数が入っていないことがある。

問題文が読み取れていない・指示に従っていない可能性が高い。

解答例と問題文をよく見比べる。答練解説を熟読し、
問題文から解答例へどのように引用されているか、分析する。

ex. 「～の観点から」
(特に監査論・企業法と、財務理論の応用的な問題)

手応えとの乖離の原因がわからないものについて、
自分で分析した答案を講師に見せて相談する。

Q. []
[]
[]
[]
[]

A. []
[]
[]
[]
[]

7 2月実施 社会人合格者インタビュー アーカイブ動画紹介

(愛媛通信生 フルタイム金融業)

2/9(木)19:00-20:30 実施

社会人合格者インタビュー 資料①体験記

内容	頁
1 時間の確保について (平日仕事をしながらに勉強時間を確保するか)	p. 2
2 勉強法について (1) 「分散学習」 (2) 「想起学習」	p. 2 p. 3
3 テキストへの一元化	p. 3
4 各科目のバランスについて ⇒図表：平日の過ごし方・2年間の勉強時間/配分記録 短答/論文直前期の過ごし方	p. 3-
5 オンラインサポートの活用方法 (個別成績相談、ホームルーム、テキストチェックゼミ)	p. 6
6 失敗談・途中改善したこと (全般・科目ごと) 参考：実際の論文式本試験成績表	p. 7
7 遠方通信生・社会人受験生へのメッセージ 参考：テキストチェックゼミについて	p. 9 p. 10

1 実際のスケジュール帳

入門・基礎マスター期 (2020年8月~受講開始 2022目標2年コース 在宅勤務なし、毎日出社)
2021年4月 赤...講義の受講予定 シャーペン...復習予定日



例
2/1 講義受講→マンスリー
カレンダーに、シャーペン
で下記復習日記入
①講義の1日後 2/2
②1週間後 2/8
③2週間後 2/15
④1ヶ月後 3/1
⑤2ヶ月後 4/15
★あくまで目安として記
入。多少ずれても気にして
いなかった。
特に、講義受講後の復習
①②を重視していた。

平日の過ごし方 (勉強時間5h35m)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
睡眠	起床	勉強 (2h45m)	朝の 準備	勉強 (45m)	仕事	昼食	昼休み 勉強 (45m)	仕事	勉強 (20m)	夕食 休憩	勉強 (1h)	風呂 就寝 準備	睡眠										

歩きながらと電車の中で勉強
(15m)
会社のデスクで勉強 (30m)

歩きながらと電車の中で勉強
(20m)

お風呂の中で、今日やったこと
を思い出しながら振り返り

2年間の勉強時間 配分記録

(※1)

科目名	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	短答まで合計	比率
財務(計算)	51.32	63.21	70.35	78.24	75.42	76.10	38.15	60.29	52.17	36.33	43.42	42.35	689.38	32.0%
財務(理論)	0.00	0.00	7.21	24.14	29.33	22.43	22.44	45.07	35.13	35.38	40.37	37.22	304.32	14.8%
管理	43.13	20.27	44.16	44.46	32.37	35.31	34.44	47.34	44.07	43.02	37.40	40.22	472.28	23.0%
企業	14.96	31.46	27.43	34.33	20.38	31.43	29.30	24.00	32.56	20.42	36.40	33.35	348.16	17.0%
経済	0.00	0.00	0.00	0.00	13.04	35.02	24.33	36.07	24.37	35.13	36.49	35.30	238.23	11.6%
総計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0%
合計	109.41	115.34	143.58	181.57	184.54	206.06	149.55	203.20	193.12	179.36	194.37	188.54	2053.10	100.0%

(※1) 2021年10月頃より、各科目の勉強時間のバランスを取ることを意識。

隙間時間の使い方/科目間のバランス、何を意識して「何をやらなかったか」など
専念生の方にも広く参考になる内容。

冒頭のインタビュー部分 40 分ほど・Q&A 部分 40 分ほど

内容抜粋

- 「モチベ」は特段考えず、勉強を日常化
- 隙間時間は Anki アプリ(理論の重要概念)
- 前後2・3日のズレは気にしない(「崩れた」とも捉えない)
- 管理は章扉目次から処理を想起・テキストチェックゼミの活用
- ミスを言語化→テキストへ一元化

Web School「講座からのお知らせ」欄 アーカイブ配信ページ

その他 論文生の方からいただいた事前質問

Q. 社会人 論文初年度生

基礎答練がD,E判定でした。テキストの基本的な内容を完璧には覚えてないと自覚もあるので、応用答練を受ける前に全科目テキストを覚えることを最優先に行っています。こんな状態ですが、4月の模試は日程通りに受けた方が良いですか。それとも、自分なりにテキストを完璧に覚え終わってから、受けた方が良いですか。

⇒はい、12月短答が合格しているのであれば、論文模試①は必ず日程通りに受けましょう。応用答練についても、完璧でないタイミングであっても受けていった方が、学習効果が高く、また、効率が良いです。

応用答練の特に企業法は、開始10-20分程第一関門を考えるとところまでなどは自力で取り組んで、詰まったらテキストを見てもよいです。

Q. 退職専念生

論文式試験にむけて雰囲気をつかむために過去問を数年分確認しておいたほうが良いでしょうか？

ちなみに解こうとはせずどんな感じに出ているか見るだけにしようと思います。

⇒3年分などはパラパラ見るとよいです。論文対策講義初回でも過去問分析は話されていますので参考にどうぞ。

Q. 企業法のテキストに掲載されている論点の論証例は、いつまでに、どの程度暗記したら良いのでしょうか。

⇒本試験までには、条文に載っていない要件部分などを説明できるようにしましょう。暗記の精度はそこまで問われない科目です。問題文を読み取って、第一関門や関連する条文を挙げられるだけの基礎知識があるかどうかで大きく差が付きます。

Q. 論文式答練（アクセス、基礎、応用）や模試の解き直しは何回やれば良いのでしょうか。問題の難易度によって差をつけた方が良いですか。

⇒計算力維持のために、4・5月に1回、7・8月に1回などで、本試験までに大問ごとに概ね2回（アクセスは+1回ほど）は解くようなイメージです。難易度Aの箇所が優先です。本日のセミナーレジュメの後半も参考にどうぞ。

Q. 財務理論論文問題集に掲載されている問題は基準を見なくてもスラスラ書けるように暗記した方が良いでしょうか。

⇒計算処理部分を覚える必要はありません。覚える必要がある理屈部分のみについて、理解した上で暗記しましょう。

Q. 論文基礎答練の科目別診断表の見方についてです。

「得点」とは、自分の偏差値を表しているのでしょうか。

⇒「得点比率」が偏差値です。「得点」は、偏差値からその大問の配点を加味した「調整後得点」を指しています。

例：配点 50 点の大問で、素点 12 点、偏差値 50→得点「25 点」

自分の単純に正解した点数は一番左の「素点」です。

※得点比率は、同一採点者を母集団として算定しています。

「全国平均素点」は、全国の通学生の単純平均で算定しています。

まだ提出部数が少ない時点だと、素点が全国平均を超えていても

偏差値が 50 を下回るケースがあります。

Q. 退職専念 論文リスタート生

理解が甘いところについて講義を視聴した上で、インプット教材を周回できるように 1 周し終えたところですが、答練などのアウトプット教材を受け切れていないものもあります。また、苦手科目に注力していたこともあり、現時点でバランスを欠いています。

4 月に入って模試も近い事もあり、方針に迷いが出ているのですが、模試まで、あるいは一定の目処までのおすすめの方針はありますか？
また企業法について、令和四年の法令基準集のまま来ているのですが、改めた方が良いでしょうか？

⇒企業法については電子提供制度など改正があるため、最新版を購入しましょう。その他、会計学以外は全て最新版購入が必要です。

時期ごとの方針については、本日のレジュメ前半を参考にどうぞ。

巻末参考資料

相談窓口等 質問コーナー・個別相談・就職サポート

入門・BM期のポイント 相談環境を整える

講師への相談方法

● 質問・相談コーナー [校舎/zoom]

質問コーナー日程表 ▶
(受講生HP「@C.P.A.」)



質問コーナー日程表

※日程表内「TA」…合格者チューター

★校舎の質問コーナーの方が、zoomよりも比較的空いています。
近くにお住まいの方は(通信生の方も含めて)、ぜひ校舎質問コーナーをご利用いただければ幸いです。

TAの公認会計士講座 (関東地区) 質問・相談コーナー 9月予定表 確認版

月	日	時間	講師	備考
9	1	14:00-16:00	久野 久美子	
9	2	14:00-16:00	久野 久美子	
9	3	14:00-16:00	久野 久美子	
9	4	14:00-16:00	久野 久美子	
9	5	14:00-16:00	久野 久美子	
9	6	14:00-16:00	久野 久美子	
9	7	14:00-16:00	久野 久美子	
9	8	14:00-16:00	久野 久美子	
9	9	14:00-16:00	久野 久美子	
9	10	14:00-16:00	久野 久美子	
9	11	14:00-16:00	久野 久美子	
9	12	14:00-16:00	久野 久美子	
9	13	14:00-16:00	久野 久美子	
9	14	14:00-16:00	久野 久美子	
9	15	14:00-16:00	久野 久美子	
9	16	14:00-16:00	久野 久美子	
9	17	14:00-16:00	久野 久美子	
9	18	14:00-16:00	久野 久美子	
9	19	14:00-16:00	久野 久美子	
9	20	14:00-16:00	久野 久美子	
9	21	14:00-16:00	久野 久美子	
9	22	14:00-16:00	久野 久美子	
9	23	14:00-16:00	久野 久美子	
9	24	14:00-16:00	久野 久美子	
9	25	14:00-16:00	久野 久美子	
9	26	14:00-16:00	久野 久美子	
9	27	14:00-16:00	久野 久美子	
9	28	14:00-16:00	久野 久美子	
9	29	14:00-16:00	久野 久美子	
9	30	14:00-16:00	久野 久美子	
9	31	14:00-16:00	久野 久美子	

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段 ▶

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから待機室へ(ビデオオフでOK。スマホからも接続可能)



● 個別成績・学習方法相談(久野/塚本/平林/蓮尾/藤野) [校舎/zoom]

毎週土曜日13時~次週1週間分をネット予約受付 ▶

※通常の質問コーナー(予約不要)でも、学習全般の質問を各講師が承ります。



Web予約システム



個別成績・学習相談日程
(受講生HP「@C.P.A.」)

2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 12

質問・相談コーナー | 公認会計士 | 資格の学校 TAC[タック] (tac-school.co.jp)

入門・BM期のポイント 相談環境を整える

TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

監査法人や会計事務所等への就活・転職以外にも、下記について相談可能。

- 一般事業会社への就職・転職
- 仕事を辞めて受験専念にするか
- 卒業後働きながら受験を継続するかどうか
- 受験対策を中断して就職する場合の、エントリーシートの添削等

フリーダイヤル【予約不要】0120-527-699(平日14~17時)
メール counselor@tac-school.co.jp

★Web予約システムその他、
メールで希望日時(平日午後・平日夜・土日など)を伝えていただき、日程調整の上、
zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC就職相談 Web予約システム



2022年10/24(月)24目標入門・BM期HR 13

公式 LINE による重要情報通知サービス

公式 LINE で、時期ごとのポイント・セミナー/相談会実施情報・答練出題範囲/講義日程公表等、見逃しがちな重要情報についてお知らせしています。

2 月以降、下記 3 つのアカウントで状況別に配信します。
受け取りたい情報に応じて、選択/友達追加のほど、よろしくお願いいたします。

▼23 目標 論文関連情報 (LINE ID : @23tac_ron)

<https://lin.ee/HNXTLMw>

※論文関連情報についてのみ通知



▼【新設】23 目標 58 向け (LINE ID : @23tac58)

<https://lin.ee/GZRizG1>

※4 月以降 5 月短答までは、
短答関連情報を通知



▼23 目標 5 月専念生向け (LINE ID : @23tac_5)

<https://lin.ee/StnmHys>

※5 月短答まで短答関連情報のみ
通知を受け取りたい方向け



【アカウント以降に伴い、2 月以降 メッセージ配信停止】

- ・短答初年度生向け (LINEID : @23tac)
- ・短答リスタート生向け (LINE ID : @23tac_tan)

巻末資料参考資料 財務理論 合格者のテキスト使用例 阪本さん

(早稲田校・日吉校チューター 2021年4月学習開始 12月短答合格・2022年8月論文合格)

I. 会計基準を設定するアプローチ ☆☆☆

会計基準を設定するアプローチには、**帰納的アプローチ**と**演繹的アプローチ**の2つがある。

	帰納的アプローチ	演繹的アプローチ
意義	実際にされている会計処理方法を観察し、その中から一般的又は普遍的なものを抽出することによって、会計基準を設定する方法	会計の前提となる仮定や会計の目的・機能を規定し、これらの仮定や目的・機能に基づいて具体的な会計処理のルールを導き出す方法
代表例	「企業会計原則」(旧)	「概念フレームワーク」

帰納的アプローチにより設定された会計基準は、広く普及した会計実務から構成される。一方、会計実務の問題があっても問題を改善するような会計基準は形成されない。また、**基準全体の適合性の低下、責任が確保されない等の問題がある**。このような問題の解決、会計基準を理論的に体系付けるために、演繹的アプローチが主流である。

新しい会計準則や取引に対応できない。
① 会計慣行が成熟していない。

II. 会計公準 ☆☆

会計公準とは、会計の理論的な基礎構造を構成する命題であり、それなくしては会計が成立しない。意味で、会計理論や会計実務の最も基礎的な前提とされる。会計公準としてのどのような公準を上げるべきかについては諸説あるが、最も一般的と考えられるのは、**企業実体の公準**、**継続企業の公準**、**貨幣的評価の公準**の3公準である。

企業実体の公準	継続企業の公準 (会計期間) の公準	貨幣的評価 (貨幣的尺度) の公準
企業が設定された財産と資本についてだけ記録と計算を行うという会計の対象範囲を限定するもの	企業は継続的に営業活動を行って、一定の会計期間に区切って期間計算を行うという会計の対象を時間的に限定するもの	会計上の記録・計算・表示については、統一した貨幣単位を用いるという基礎的な前提
個別財務諸表・連結財務諸表	事業年度(1年)・四半期(3ヶ月)	円・ドル・ユーロ

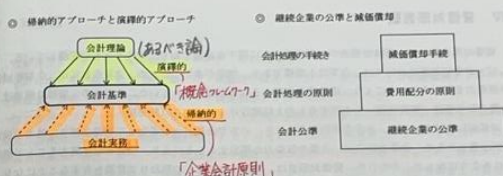
企業 ← 出資 ← 株主
企業 ← 負債 ← 債権者
企業 ← 資本 ← 資本家

「企業会計原則」の前文には「企業会計原則は、企業会計の実務の中に慣習として発達したもののうち、一般に公正妥当と認められたところを要約したものであって、必ずしも法令によって強制されないものの企業がその会計を処理するに当たって従わなければならない基準である。」と記載されている。

② 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準は継続企業を前提としているが、そのような企業会計の適用として作成された財務諸表が企業の将来の事業活動の継続を保障するという訳ではない。そこで、**企業会計の適用に際しては、経営者は、継続企業の前提に関する事項について「財務」第8条の27. 詳しくは「監査」にて学習されたい。**

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

第2章 財務会計の基礎概念



III. 会計主体論 ☆☆☆

会計主体論とは、企業と出資者の関係をいかに解釈し、会計上の判断を出資者と企業のいずれの立場から行うべきかを考察するものである。代表的な見解として、**資本主体論**と**企業主体論**がある。

	資本主体論 (現行)	企業主体論 (伝統的)
意義	企業を資本主のものとする。 会計の主体を資本主であるとする立場	企業を資本主とは別個独立の存在と捉え、 会計の主体を企業それ自体とする立場
説明	資本主体論では、企業の資本はすべて出資者のものであり、その金額は出資者にとつての正の財産から負の財産を控除して算定される。貸借対照表上は、正の財産は資産の部に、負の財産は負債の部に記載され、その総額は、資本主に帰属する部分と純資産の部に記載される。	企業主体論では、自己資本(資本・返済不要)は、他人資本(負債・返済必要)と合わせて、資産の形で運用されていると位置付けられる。貸借対照表は、資金の調達源泉(貸方)と運用状況(借方)を対照表示することにより、企業の財政状態を描写していると考えられる。
貸借対照表	貸借対照表 資産 = 負債 + 資本 資本主に帰属する部分	貸借対照表 資産 = 負債 + 資本 負債(返済必要)と資本(返済不要)を区別

立場によって会計が変わる

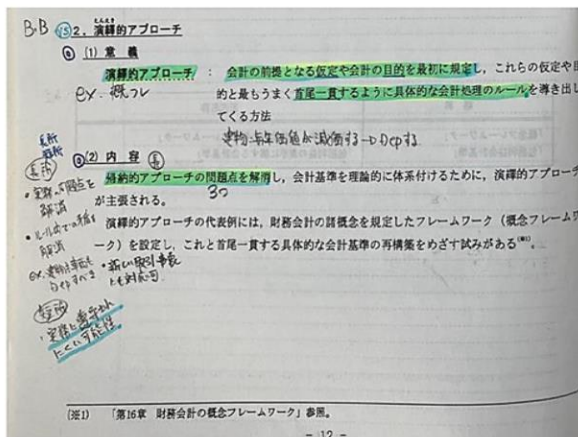
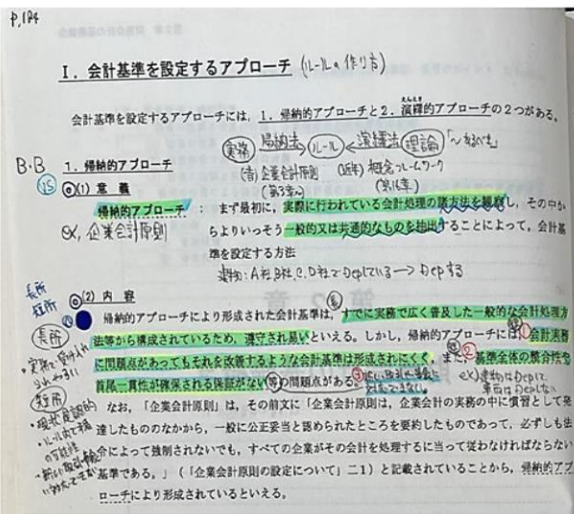
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

福田さん (zoom質問ルーム待機など)

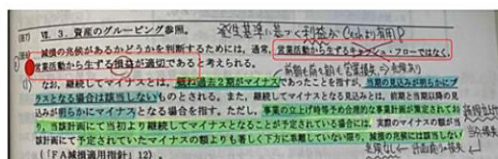
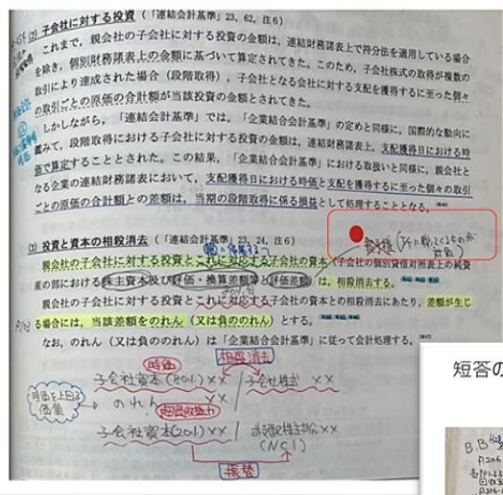
退職専念生 2017年8月論文合格 町田校

(2010年簿記1級取得 2015年3月 退職して学習開始 2016年12月短答合格)

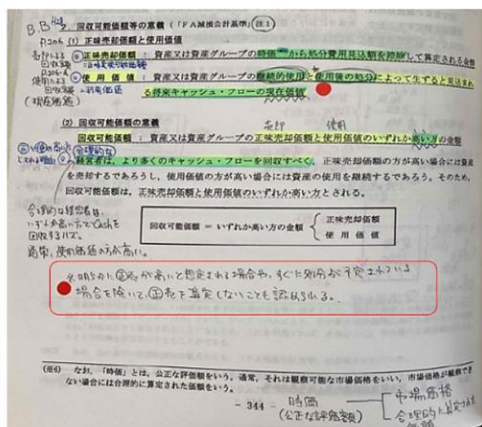
黄色は短答用、青色は論文用と決めて、ハイライトしていました。また、短答答練で出題された箇所には赤シール、論文答練で出題された箇所には青シールを貼って復習することで、効率的にインプットできていたと思います。



短答は細部まで暗記する必要があるので、答練の選択肢の記載を書き込んで×をついたり、テキストの「ではなく」といった記載には×や○をつけて対比するなどし、視覚的に分かりやすいようにしていました。



短答の選択肢で、テキスト上にない肢もありますので、テキストへ適宜書き込みをしていました。



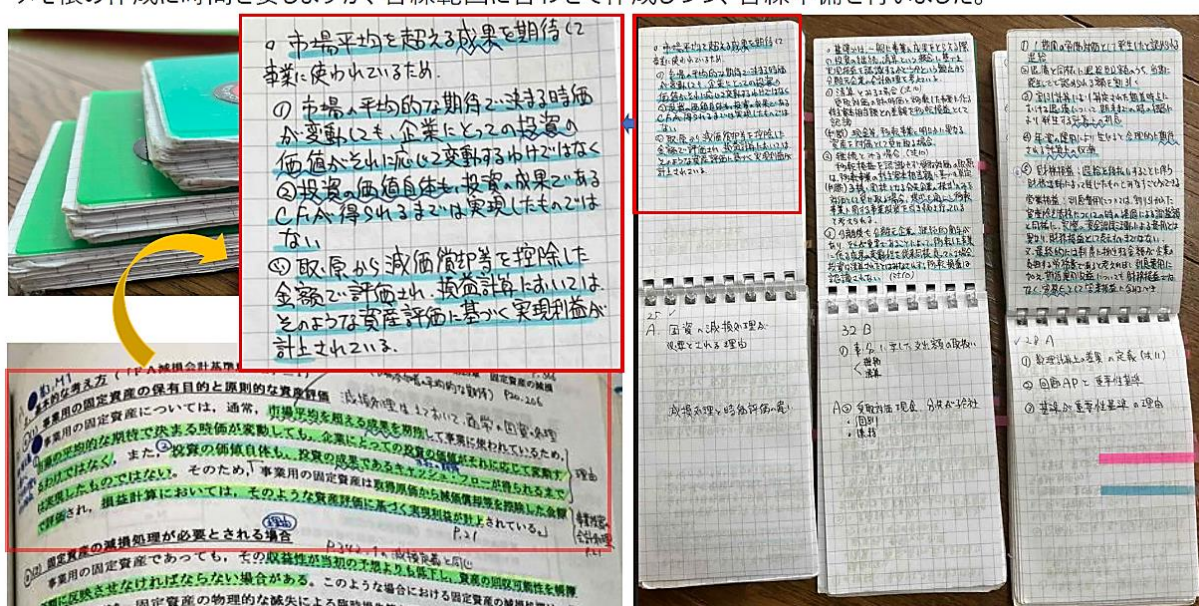
福田さん 12月短答後

【注意】あくまでも、テキストがメイン。

テキストとしばらく離れると、問われていることがわからず
論点ズレしたり、
ごく常識レベルの基礎知識が抜けるリスク有り。

論文では、3冊のメモ帳にテキストの論点を全て集約し、回転させることで暗記し、並行してテキストを速読していました。監査も1冊か2冊程度のメモ帳を作成し、同様に利用していました。

メモ帳の作成に時間を要しますが、答練範囲に合わせて作成しつつ、答練準備を行いました。



以下、12月論文学習法セミナー等から抜粋

論文式試験 必要な力[全般](大部分は短答対策と共通)

Input面

★ テキストや問題を形式的に何度も「回転」するのではなく、
その時々で「どんな力を伸ばすか?」目的を持って取り組む。

- テキストについて、理解している(比較ができる、具体例が説明できる)。
- テキストを閉じた状態で、基本的な内容を想起・説明できる。

★ 「知っている」「見ればわかる」では足りない。
問題を解いた後、「テキストの周辺論点」まで想起できるかを意識。

Output面

- 問題文を読み、テキストのうち、どこが問われているか掴める。
★ アウトプットを通じて、テキストのインプットの穴発見。
- 問題に対して、素直に「過不足なく」答えられる。
- 基準集が使える(監査論、租税法、財務理論、企業法)。
- 得点に繋げられる。(試験前のピーク合わせ、時間配分・難易度の読み取り、読み飛ばしなどのやらかしミス対策、部分点獲得等)

講義・教材の位置付け

2022年12/12(月)短答後セミナー 今後のスケジュールとポイント 13

【租税法 入門・上級講義】

- 入門9回(法人税基礎①)
- 上級1~8回 所得税・消費税・法人税基礎②
- 上級9~15回 各税法応用論点
- 上級16~18回 理論部分(5月生は5月短答後)

【経営学 講義】

- ファイナンス部分10回
- 戦略論・組織論部分 4月までに4回ほど・6月中までに3回ほど
- ★ 5月生は、ファイナンス部分10回か、テキスト①の4回目まで受講、もしくは5月短答以降に受講など。

論文対策講義 ★初年度生の場合…手続を行えば視聴可能。

インプット強化の関西管理・関西監査論など適宜活用。手が回っていない場合はアクセスと答練優先。)

【論文対策講義】(目的に合わせて適宜受講)

- 関東収録版:主にアウトプット強化のための過去問演習・解説など。財務計算は本年からテキストとの紐づきなど盛り込む。
通常の答練やアクセスが優先。租税は論文受験経験者向けの理論対策。
※特に財務理論は応用的な問題が多いため、テキスト優先。見るとしても、あくまで参考程度。
- 関西収録版:管理会計・監査論は、主にインプット強化。
論文の学習法・テキスト理解に悩んでいる受講生向け。

※論文対策講義について、詳しくは、各講義冒頭を受講。

- 【論文基礎答練】(★5月短答生もできれば活用)
形式に慣れる。問いに素直に答える練習。

【論文応用・直前答練・全国模試】

- 時間配分の練習。
- 難易度の高い問題のうち、取るべき箇所の見極め。
- 部分点を取る練習。
- ※租税・経営は、応用答練から理論部分を出題。

【論文アクセス】(★財務・管理は5月短答生もぜひ活用する)

- 【財務計算・管理(理論含む)・租税計算】
- 形式に慣れる。反復して復習。
- 取るべき箇所の見極め・メンテナンスに活用。
- 苦手な論点の強化に、難易度A部分を使う。

理論補強答練(4月頃要手続・会計学基準集プレゼント有り)

※Web論点別講義…上級生コースに付属 インプット強化のための講義。

財務理論全87時間、監査論40時間など。企業法はポイントで活用。

- 企業・租税・経営…通常の答練と同様の難易度・重要性。
- 財務理論・監査論
応用的・論点横断的な問題が多い。自習時の視点を新たにしたり、理解強化に活用。

財務・監査論は通常答練が優先。
5月生は短答後、本試験までに参考として使う。

やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 月割計算がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。電卓は体の近くで打つ。
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

お知らせ

26

23目標 財理/監査論質問用 LINEオープンチャット

- テキスト・問題集等内容等に関する質問を、
財理:平林 監査論:岡田講師が承ります。
他の参加者に名前や連絡先が表示されることはありません。

※答練については、ネタバレ防止のため、
質問メール・質問コーナーをご利用ください。

- ★過去の質問/回答について、キーワード検索が可能です。
よくいただく質問は、「ノート」にまとめます(短答向け格納済)。
他の方のご質問で理解が深まることもあるはずです。ご活用ください。

※通知が多いと感じたら、通知をオフにするか、
1度退会・後日質問希望時に再度参加してもOKです。

【参加方法】

23目標
Web School
「講座からのお知らせ」
欄内リンクから接続



下段の
「新しいプロフィールで参加」
ボタンを選択

STEP 1. 参加リクエスト時 以下2つを入力。

- ①TAC会員番号
 - ②お名前(フルネーム)
- 例 ①000000 ②田中花子

※会員番号とお名前フルネームの入力がない場合、
恐れ入りますが、一旦参加リクエストをキャンセルとさせていただきます。
再度、「新しいプロフィールで参加」ボタンから参加リクエストをお願いします。
※申請後、「新しいプロフィールで参加」ボタンが表示される場合、
入力情報不足等により参加リクエストが一旦キャンセルされている状態です。



承認完了まで、
少々お待ちください。

過去の質問や
回答が表示されたら、
参加完了です。

STEP 2.

「ニックネームを入力」

任意のニックネームを入力。
名字推奨。
例 田中
(珍しい名字や匿名希望の場合、
仮名でもok)
※既に他の人に使われている場合、
田中@ 田中・ など記号を追加など

論文リスタート生の強みと弱み(一般論)

強み 😊

インプット面

★監査論は、必ず23テキストを使用。監基報番号記載あり。

- 暗記すべき箇所や、基準集を頼る箇所等が把握できている。→理論科目が安定
- 短答直後よりも体系的な理解が進んでいる。
- 租税法・選択科目のインプットがある程度進んでいるため、他の科目の理解強化・講義受講・演習にも時間が充てられる。
- 就職活動を通じて、監査実務について少しイメージしやすくなっている。

アウトプット面

- 問題文の読み取り・答え方、試験中の時間配分等をある程度把握している。
- 教材の総量、どの時期にどれくらい忙しくなるかを体感している。→逆算できる

弱み 😞

インプット面

- △ 短答合格直後に比して、テキストの網羅的な知識・理解は保持しにくい。
自己判断で切っている論点が多くなりがち。
特に理論科目について、テキストと大きく離れていると基礎的な概念が抜けがち。
- △ 過年度の答練が手許にあるため、
問題ベースの学習偏重となりテキストが手薄になりがち。

アウトプット面

- △ 論証暗記が比較的得意になる一方で、応用的な理論問題で空欄にしがち。

➡ 昨年よりもテキストを大事に、3月末頃までを目途に、各種講義を活用して理解強化。
併行して、答練・論文対策講義・テキストチェックゼミ等を通じアウトプット力をさらに伸ばす。

12→8生の強みと弱み(一般論)

強み 😊

インプット面

- ◎ 短答科目全般について、テキストの網羅的な知識・理解を保持している。
自己判断で切っている論点が少ない。
特に理論科目について、比較的最近講義を受けているため、テキストの基礎的な知識有り。
- ◎ 手持ちの論文教材が必要十分・適切な量に絞られている。問題ベースの学習偏重とならない。

アウトプット面

- ◎ 論証暗記が当初不十分な分、応用的な理論問題でもチャレンジし、
自分なりの解答で部分点が狙う姿勢がある。

弱み 😞

インプット面

- △ 暗記すべき箇所や、基準集を頼る箇所等がまだ把握できていない。
- △ 短答まで短答問題集ベースだった場合、テキストの体系的な理解が不足している(岡田講師・岡本講師論対や質問へ)。
- △ 租税法・選択科目のインプット・アウトプット強化があるため、
他の科目の理解強化・講義受講・演習に時間が充て辛い。
法人税①を早めには得意にする。
まずはテキストトレーニング
- △ 監査実務についてイメージし辛い。(→監査論は、岡田講師論文対策講義を受講ののち、適宜大橋講師版)

アウトプット面

- △ 問題文の読み取り・答え方、試験中の時間配分等を把握できていない。
- △ 教材の総量、どの時期にどれくらい忙しくなるかを体感できていない。(→2・3月、6月はハードと心積もりしておく)

➡ 短答前よりもテキストを大事に、3月末頃までを目途に理解強化。暗記すべき箇所把握。
併行して、答練・論文対策講義一部・テキストチェックゼミ視聴等を通じアウトプット力をさらに伸ばす。

参考資料 12月以降8月論文までのスケジュール目安

12月短答以降スケジュール目安

2022年12/12(月)短答後セミナー 今後のスケジュールとポイント 8

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

Input強化

テキストの内容・基礎的な概念を理解し、口頭で説明できる状態に。初年度生も、租税法以外の論文対策講義を適宜活用(ゼロ円登録)。

上級生は、インプット強化にWeb論点別講義を活用。(財理・監査論は全て受け直してもOK)

Output強化

Outputを通じて、Inputの穴を探す。足りない力を分析。

問題文の読み取りと素直な答え方、部分点の取り方等を身に付ける。

各種アクセス/答練のほか、3月末にかけて管理・監査論テキストチェックゼミや論文対策講義を活用。(気になる科目はガイダンスとして各1回目冒頭を受講)

正確性・スピード強化。

★4月までのアクセス・答練は、出題範囲有。
5月短答生も計算力アップ・理解強化のため適宜活用。

論文アクセス

財務 計算
管理会計論
論文アクセス
前半10回

2月頃
租税法
アクセス
(先取りアクセス
調整中)

論文答練

基礎答練 3回
(企業法は4回)
★問題文の読み取り、
問への素直な答え方
を身に付ける

応用答練 2回
★応用的な問題での
部分点の取り方、
時間配分の練習等

全大問で凹みを均す。

4月末 論文公開模試 第1回 (5月短答生は短答後に活用)

理論補強答練1・2 (5月短答生は短答後に活用)

5/28(日)5月短答式試験

論文直前講義 各1回

財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2

6月末 論文公開模試 第2回

論文直前答練 3 (監査企業のみ4回目あり)

回転期 インプット詰め&アウトプット力維持/強化

会计学計算・・・2週間以内に論点1周、
その他は7日～2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。

8/18- 論文式試験

★全科目、テキストを大事に。納得感を持てるか。
テキストを閉じて、想起・説明できるか。
財理は2～6章など受け直してもOK。
★4月までのアクセス・答練は、**範囲指定あり**。
準備して受験し、インプット・アウトプット双方強化。

【5月短答を受験する場合】 5月短答・8月論文ネット出願
2/6～2/27メ切

3月末までは、理屈重視。
状況に応じて論文アクセスなど活用。
4月に入ったら、論述対策や、租税法・選択科目はストップ。
短答知識暗記。
状況別のスケジュールについては12/12(月)セミナーで詳述。

【5月短答を受験する場合】
3月末までは理屈重視

4月頃～ 回転期(短答向けの知識暗記)
3月後半 5月短答向け 短答直前答練1
4月頭 直前答練2 (照準を合わせる
5月頭 短答全国模試
5月2週目頃 直前答練3

全科目、
満足水準まで持っていけるか?

【 M E M O 】